

令和5年度 学校評価書 (実施段階)

福岡県立香住丘高等学校

自己評価

学校運営計画(4月)

評価(総合)

Table with 3 columns: 学校運営方針, 人間教育に主眼を置き、将来、国家社会に貢献できる人材の育成をめざす。; 学校運営計画(4月); 評価(総合) A

Table with 5 columns: 評価項目, 具体的目標, 具体的方策, 評価(3月), 次年度の主な課題. Includes rows for 学務部, 生徒部, 進路部.

学校関係者評価

評価(総合)

自己評価は A: 適切である B: 概ね適切である C: やや適切である D: 不適切である

A

Table with 2 columns: 項目ごとの評価, 学校関係者評価委員会からの意見. Includes rows for 学務部, 生徒部, 進路部.

研究部	研修課	「主体的・協働的で深い学び」の視点に立った授業と評価の改善	①授業研究会や研究授業、校内研修により授業方法や評価方法を常に改善する。	A	A	A	○授業研究会や職員研修の「実」をあげるため、あり方を再検討し、職員間の意識共有を図る。 ○「総合的な探究の時間」の企画・運営はプロジェクトチームにうつし、学年間の連携を強化して実施する。	A	学年間の連携をどのように強化するかを含め、「総合的な探究の時間」を魅力あるものとして構築していくことが望まれる。
		探究型教科・科目の実践と評価方法の開発	①年2回(7月・12月)の生徒課題研究発表会を効果的に実施する。	B					
	広報・情報課	訪問事業や体験事業の充実	①中学校、塾訪問に加え「教育関係者対象学校説明会」を実施する。	A	A	A	○オープンスクールの内容を充実させ、より多くの中学生が参加できるものを目指す。 ○HPやInstagramの利用を促進し、本校の魅力をより多く伝える機会をつくる。		
		情報機器の整備・管理とICT業務の適切な運営	①学校行事等の記録は3日以内にHPで公開し、閲覧数の増加を目指す。 ②電子黒板、タブレット等の適切な活用と管理の徹底を図る。	B A					
英語科	国際的視野の育成	①多くの英語科行事(夏季研修、夏季ニュージーランド語学研修など)を実施する。 ②福岡市姉妹都市高校生の受け入れを通じた国際交流を実施する。	A A	A	A	○海外研修、米国留学生との国際交流など英語科独自の行事を確実に継承する。 ○英検、TOEIC、エッセイやディベートなど英語科生徒の総合的な英語力をさらに向上させる。			
	総合的な学力の育成	①暗唱、弁論、ディベート、エッセイ大会で九州大会出場以上を目指す。 ②英検1級・準1級合格10名以上、TOEIC600以上、GTECレベル6を目指す。	B A				A		
数理コミュニケーションコース	深い科学的思考力の育成	①春季研修等の新設やJSS等の廃止などコース独自の行事を再構築する。 ②福岡女子大学と提携した新たな課題研究発表会や研究活動を実施する。	A A	A	A	○数コミ独自の行事を精選、実施し、課題研究の質を向上させ、進路実現に繋げる。 ○コース担任への業務負担の偏りを改善し、持続可能なコースの在り方を確立する。			
	課題研究及び英語学習に対する意欲と学力の向上	①様々な課題研究発表会において、これまでと同程度の受賞数を目指す。 ②卒業までに英検2級取得15名以上、準2級取得25名以上を目指す。	B A				A		
第1学年	基本的な生活習慣の確立	①時間厳守を徹底し、規範意識の向上を図り、節度ある生活態度を育成する。 ②挨拶・掃除の徹底を図り、学習環境を整えさせる。	B A	A	B	○登校時間、名札の着用など「当たり前のことを当たり前」に継続していく力を身に付けさせる。 ○進路意識を喚起する機会を作る。 ○「総合的な探究の時間」の運営のあり方を再検討する。			
	学習習慣及び基礎・基本の定着	①予習・復習の定着を図り、1日3時間以上の家庭学習を確立させる。 ②授業を中心とした学習習慣を大切に、自ら学ぼうとする姿勢を育成する。	B A				A		
第2学年	基本的な生活習慣の確立	①修学旅行に向け5分前行動を徹底し、メリハリある生活態度を育成する。 ②1年生の模範となるよう挨拶、名札の着用、自発的な掃除を実践させる。	A B	A	A	○安易な遅刻・欠席を行わない学年団による組織的な指導を実施する。 ○考査の素点向上のための取組を実施する。 ○進路意識を喚起する取組を実施する。			
	自発的な学習による第一志望進路の確立	①第一志望を安易に変更せず、実現可能な目標とするための働きかけを行う。 ②進路目標に応じた集会を実施し、次年度に向けた心構えを構築させる。	B A				B		
第3学年	学校行事の再構築とメリハリある学校生活の確立	①5分前行動とメリハリある学校生活を実践させる。 ②昨年度の学校行事から更に発展させ、新たな香住丘の学校行事を創造する。	B A	A	A	○安易に遅刻・欠席をしない生徒を育成する。 ○何事に対しても意識付けを早期に行い、香住丘の当たり前を早くから意識させ行動させる。 ○進路目標を早めに設定させる指導を徹底する。			
	主体的行動による希望進路の実現	①生徒自ら学びに向かう主体的な行動によって学習の楽しさを実感させる。 ②「百折不撓」の心意気で希望進路を実現させる。	B A				B		
人権教育	教職員の人権感覚の向上	①人権に関する研修での学びを職員研修等を活用して還元する。 ②香住人権セルフチェックシートを作成し、自らの人権意識を振り返る機会を設ける。	A B	B	B	○生徒の人権感覚と人権意識を高め、人権について日常的に意識できるような取組を実施する。 ○学年の学習会、反省会を充実させ、教員と生徒が学び合うような人権教育授業の開発を行う。			
	中・長期的な人権教育体制の構築	①人権教育授業の学年学習会を年3回以上実施する。 ②学年担当を分掌化し、人権教育授業を軸とした新たな人権教育体制を構築する。	A B				B		
事務部	各分掌、関係団体との連携推進	①各部との連携を密に行い、必要な環境整備を進める。 ②学校周辺との情報交換及び関係団体との良好な関係づくりに努める。	A B	A	A	○施設・設備の老朽化に対して、適切なメンテナンスを行う。 ○突発的な修繕に備え、適切な予算配分を行う。			
	施設点検の徹底と危険箇所の改善	①環境整備班と連携し、定期的な校内巡回を行うことで危険箇所を把握する。 ②改善が必要な箇所については、遅滞なく対応する。	A A				A		

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ・学校運営方針である「人間教育に主眼を置き、将来、国家社会に貢献できる人材の育成をめざす。」ことを基本として、すべての教育活動をより密に連携させ、質の向上を図ることによって、生徒の学校満足度の向上に努める。
- ・本校の教育活動の現状とその分析から明らかとなった課題の克服に向け、教職員の共通理解を深めるとともに、関係団体との連携を図りながら取組を推進する。
- ・「主体的・対話的で深い学び」を推進し、生徒が自立したアクティブラーナーへと成長するための授業改善を積極的に推進するとともに、評価法の理解を深め、その改善・定着を図る。
- ・教職員・生徒の人権感覚、人権意識の涵養の視点から学校教育活動全体を見直し、安全・安心で一人ひとりが尊重される教育環境の一層の充実を図る。
- ・各種説明会やホームページ、SNSを有効活用し、中学生や地域の方々に対して、本校の教育活動の積極的な広報活動を展開していく。

評価項目以外のものに関する意見

教育活動の改善には多くの時間と労力を必要とするが、学校運営方針の実現に向けての具体的な創意工夫が望まれる。